



アムヴトラによる治療を 受ける患者さんへ

監修: 植田 光晴 先生
熊本大学 脳神経内科学 教授

 Alnylam®
PHARMACEUTICALS

目次

はじめに	3
アムヴトラによる治療にあたって	4
トランスサイレチン型家族性アミロイド ポリニューロパチーの症状を引き起こす原因	6
アムヴトラが作用するしくみ	8
アムヴトラ投与中の副作用と注意点	10
不安や心配ごとがあるときは 1人で悩まずに相談を	12
もっと詳しい情報を知りたい方に	13

はじめに

この冊子では、トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー*と診断され、アムヴトラによる治療を受ける患者さんに向けて、薬の特徴や注意点などをご紹介します。安心して治療を受けていただくためにも、ぜひこの冊子をご一読ください。

不安な点やわからないこと、もっと詳しく知りたいことがあれば、医師や看護師などの医療関係者にご相談ください。

この冊子が、あなたの治療に対する理解を深める手助けになれば幸いです。

*:「遺伝性ATTR(ATTRv)アミロイドーシス」、「FAP(Familial Amyloid Polyneuropathy)」とも呼ばれています。



アムヴトラによる治療にあたって

治療の対象となる患者さん

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーと診断された方

治療を受けることができない患者さん

過去にアムヴトラに含まれる成分で重い過敏症を起こしたことのある方は、この薬による治療を受けることができません。

治療に際して特に注意すべき患者さん

● 妊娠可能な女性

アムヴトラ投与中および投与終了後の一定期間は適切な避妊を行い、妊娠しないように注意してください。妊娠を希望する場合は、アムヴトラの投与を中止する必要があるため、医師に相談してください。

● 妊娠している女性、もしくは妊娠している可能性のある女性

場合によっては治療を受けられないことがあります。医師に相談してください。

● 授乳中の女性

医師と相談の上、授乳を継続するか、もしくは中止するかを決めるようにしてください。

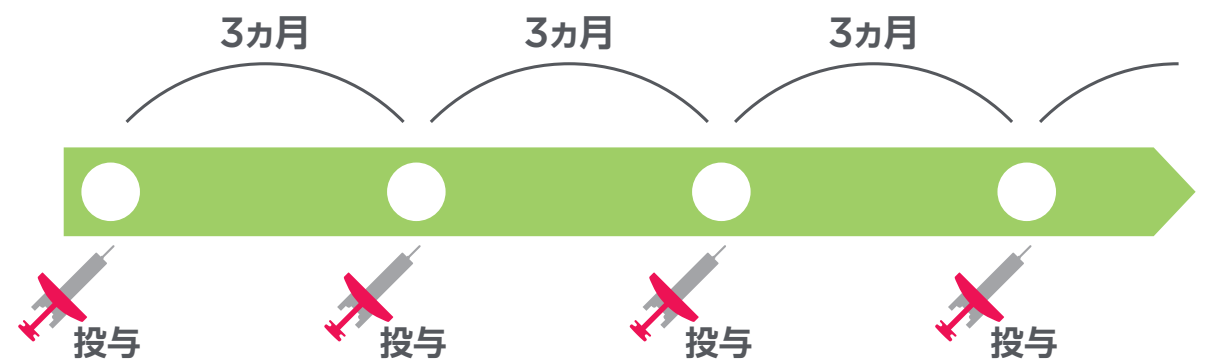
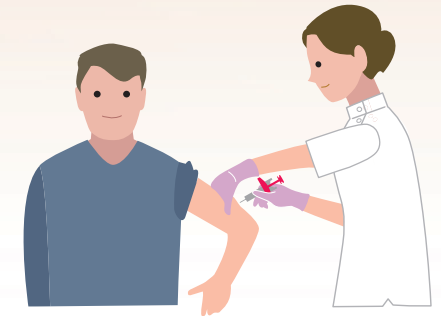
投与方法

3ヵ月^{*1}に1回、病院で皮下注射^{*2}します。

注射の場所は腹部、大腿部(太もも)または上腕部のいずれかです。

※1 臨床試験において、アムヴトラ25mgを12週間±3~7日に1回皮下投与し、有効性および安全性が確認されました。

※2 皮膚と筋肉の間にある皮下組織というところに注射します。



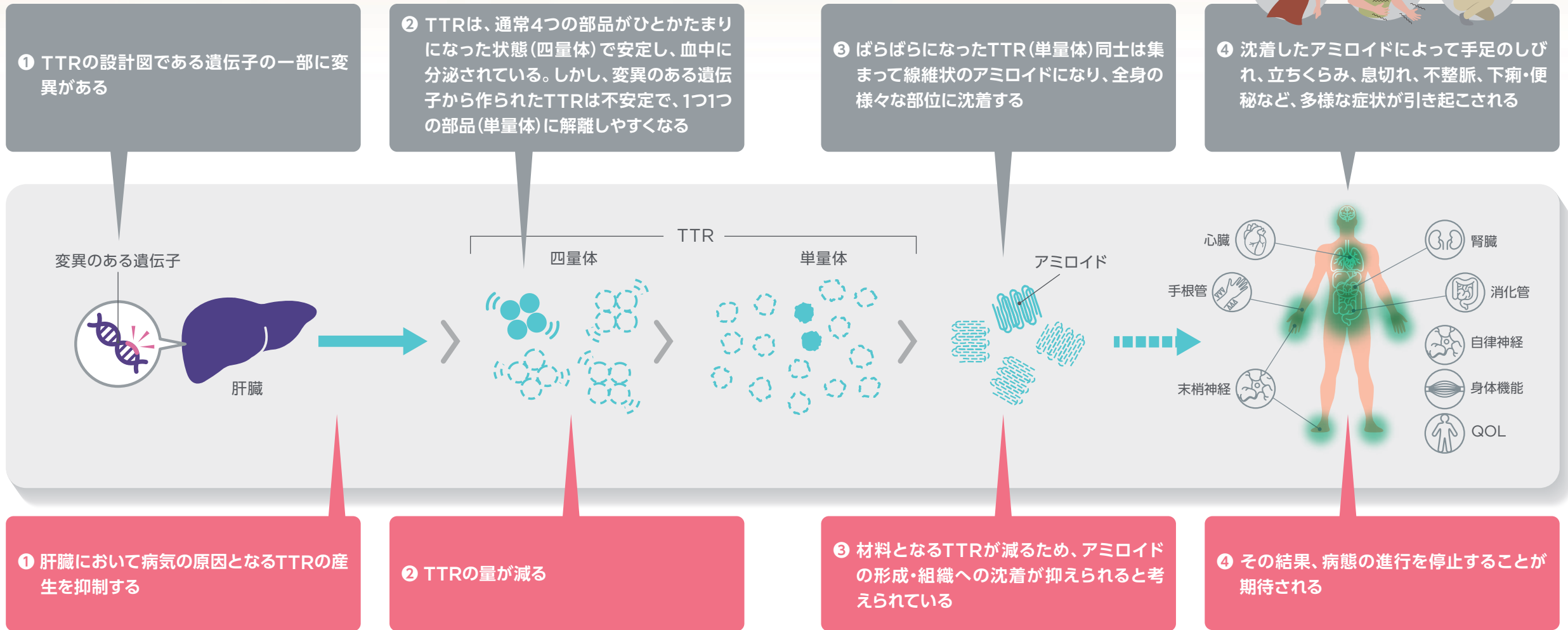
**アムヴトラは3ヵ月に1回、病院で皮下注射を行う薬剤です。
忘れずに受診するようにしましょう。**

受診できなくなった場合は、すぐに病院に連絡してください。アムヴトラの注射が予定より遅れてしまった場合は、できる限り早く病院を受診してください。以降の注射は、注射を受けた日を起点にして3ヵ月間隔で行います。

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーの症状を引き起こす原因

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー患者 さんは ……

トランスサイレチン(TTR)という主に肝臓で作られるタンパク質の遺伝子の一部に変異があり、TTRから生じたアミロイドという線維状の物質が原因で多様な症状が引き起こされます。

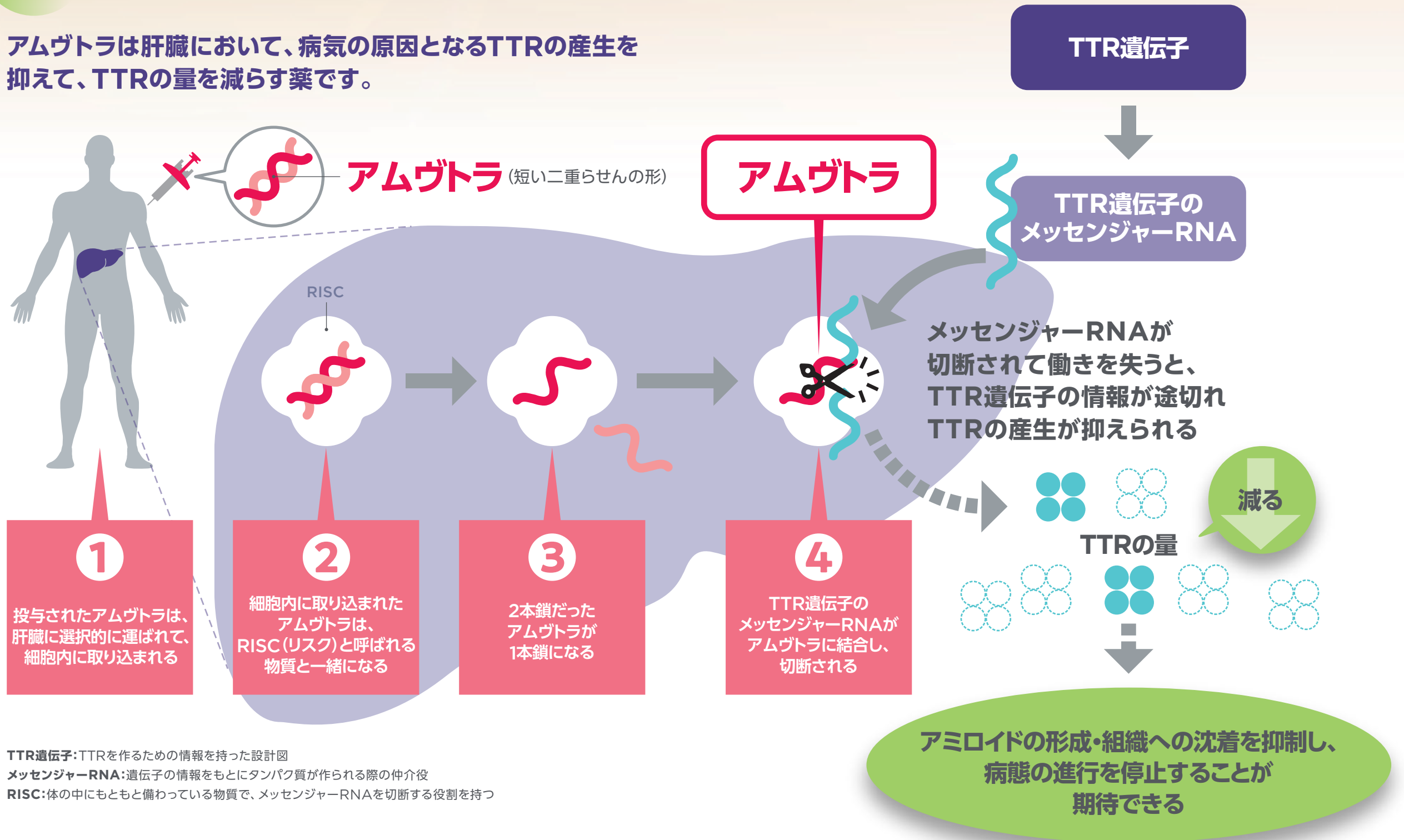


TTRの産生を抑制すると…

肝臓において病気の原因となるTTRが作られるのを抑え、TTRの量を減らすことができれば、アミロイドの形成・組織への沈着を抑え、病態の進行を停止することが期待できます。

アムヴトラが作用するしくみ

アムヴトラは肝臓において、病気の原因となるTTRの産生を抑えて、TTRの量を減らす薬です。



TTR遺伝子: TTRを作るための情報を持った設計図

メッセンジャーRNA: 遺伝子の情報をもとにタンパク質が作られる際の仲介役

RISC: 体の中にもともと備わっている物質で、メッセンジャーRNAを切断する役割を持つ

アムヴトラ投与中の副作用と注意点

起こりうる副作用

アムヴトラの投与を受けた患者さんにおいて、内出血、紅斑、痛みやかゆみなどの症状が注射部位にみられたり(注射部位反応)、ビタミンAが減少したりすることが報告されています。



注射部位反応

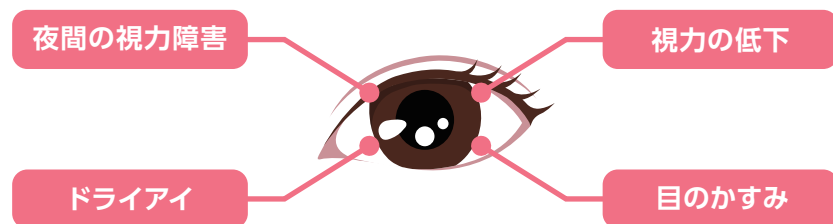


ビタミンAの減少

また、ドライアイ、白目部分(強膜)の変色、消化不良、疲れや手足のむくみなどがみられる場合もあります。気になる症状や心配なことがあれば医師や看護師などの医療関係者に相談し、適切な対応を受けてください。

ビタミンAを補給しましょう

アムヴトラの投与により、血液中のビタミンAが減少することが報告されています。そのため、医師の指示に従い、1日の推奨用量である約2,500IUのビタミンAを補給するようにしましょう。ただし、推奨用量を超える補給はしないでください。また、ビタミンA欠乏症の可能性のある症状(例:夜間の視力障害、ドライアイ、視力の低下、目のかすみ)が現れた場合は、医師や看護師などの医療関係者に相談しましょう。



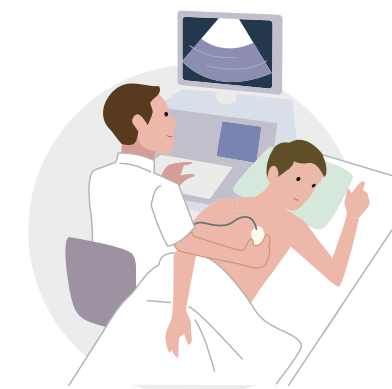
その他の注意点

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーの患者さんは、心筋症などの心臓に関する症状を伴うことが多いとされています。アムヴトラの投与を受けた患者さんにおいては、薬との関連は明らかではないですが、心臓障害に関連した死亡などが報告されています。そのため、治療中は定期的に心電図検査や心エコー検査などを行って、心臓の機能に変化がないかチェックします。

もし、患者さんご自身で息苦しさ、息切れ、疲れ、むくみや体重の増加などの症状に気付いた場合は、すぐに医師や看護師などの医療関係者に伝えるようにしましょう。



心電図検査



心エコー検査

不安や心配ごとがあるときは 1人で悩まずに相談を

もし治療中に不安なことや心配なことが出てきた場合は、医師や看護師などの医療関係者に相談してください。

また、行政では様々な社会福祉サービスを提供しています(下記参照)。1人で抱え込むのではなく、こうしたサービスをぜひ活用してみてください。



主な社会福祉サービス

難病相談支援センター	難病の患者さんやそのご家族などからの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行ってくださる施設として、都道府県および指定都市に設置されています。
介護保険制度に基づくサービス	介護認定区分に応じた様々な介護サービス(訪問介護、訪問看護、通所介護など)を受けることができます。
身体障害者福祉法に基づくサービス	身体障害の等級に応じて、医療費や補装具の費用の助成が受けられるほか、税金の減免や控除、電車、バスなどの交通機関運賃の割引などが受けられます。
障害者総合支援法に基づくサービス	障害支援区分に応じた様々な支援(障害福祉サービス、相談支援、地域生活支援)を受けることができます。
障害年金	身体障害者手帳を持っていなくても、年金の納付状況や年齢などの一定の要件を満たしていれば、障害の等級に応じた額の年金をもらうことができます。

それぞれのサービスの対象条件や担当窓口・申請方法は異なります。詳しくは、お住まいの市区町村役所(場)にお問い合わせください。

もっと詳しい情報を知りたい方に

疾患について

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーと診断された患者さんへ

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーについて、患者さん向けに詳しく解説している冊子です。



遺伝について

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーと診断された患者さんとそのご家族へ

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーの患者さんとそのご家族向けに遺伝やカウンセリングなどについての情報をまとめた冊子です。



日常生活について

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー患者さんがご自身でできる日常生活での工夫

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーの患者さんが少しでも快適な生活を送ることができるように、代表的な症状に対して、患者さんご自身でできる日常生活での工夫について紹介する冊子です。



医療費について

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー患者さんへの医療費助成制度

「高額療養費制度」や「難病医療費助成制度」について、わかりやすく解説している冊子です。



MEMO



主な社会福祉サービスについて

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー患者さんが受け取ることができる主な社会福祉サービス

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーの患者さんやそのご家族に知っておいていただきたい主な社会福祉サービスを紹介する冊子です。



介護について

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーの患者さんをご自宅でサポートされている方へ

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーの患者さんをご自宅でサポートされている方のために、知っておいていただきたい情報をまとめた冊子です。

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー 疾患情報ステーション(Webサイト) 『the BRIDGE』



『the BRIDGE』は、トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー患者さんにご家族、そして気になる症状がある方のために、病気の概要だけでなく、日常生活にお役立ていただける情報、患者さんの体験談や医療関係者のインタビュー記事、疑問や悩みに答えるQ&Aなどを紹介しています。



◀アクセスはこちらから
<https://hattrbridge.jp>

医療機関名

Alnylam Japan株式会社